

技術士 1 次試験に合格して

勤務先

株式会社 アルファ水工コンサルタンツ
技術情報部

〒063-0829 札幌市西区発寒 9 条 14 丁目 516-336
TEL 011-662-3331 FAX 011-666-8049
E-mail aigaki@ahec.jp

相垣 真奈美

(あいがき まなみ)

■ 専門：情報工学

■自己紹介

私は生まれも育ちも北海道です。大学進学とともに道外にでました。卒業後は関東のシステム開発会社に就職し約 20 年後に北海道に U ターンしてきました。

前職までは医薬または医療に関連するシステム開発に携わり、要件定義から保守までのシステム開発工程を一通り経験してきました。

いつかは故郷である北海道で、かつ第一次産業に関わる仕事に携わりたいと決めていました。第一次産業に関わる仕事に携わりたいと思ったのは幼いころに農家である祖父母と畑で過ごした時間があったためです。天候に仕事や生活が左右されて大変であるとともに人々の食生活を支えている農業という職を全うした祖父母を尊敬しており、同じような職業のサポートができればと思っていました。

現在は、農業関連ではありませんが同じ第一次産業の漁業に関連する漁港電子台帳システムの開発に携わっております。

■受験に至るまで

これまでの会社では IPA (情報処理推進機構) 主催の情報処理技術者試験の合格を推進しておりましたので「技術士」の資格については転職後に初めて知りました。

社内において技術士の資格が重視されていること、また技術士が国家資格であることにより受験してみようと思いました。

■受験体験

受験申し込み後、現時点の自分の知識と問題の差を確認するため直近 2 年分の過去問題をざっと眺めてみました。過去問題を確認して把握したことは基礎科目、専門科目いずれも広範囲のわりに問題数が少ないことでした。問題の内容については基礎科

目では高校、大学の一般教養と同レベルくらいでこれまでの業務には活用していない知識ばかりでしたが市販されている参考書もあり、何とかかなりそうだと感じました。

専門科目では参考書はありませんでしたが過去 10 年分の過去問題を解くことで合格点を狙えるのではないかと安易に考えておりました。

そのような気持ちで試験勉強を本格的に始めたのは試験当日の一か月前からでした。結果、合格点ギリギリで合格し、とても清々しく合格を祝う気持ちになれませんでした。今思えば自身の能力を過信せずにもう少し早くから計画を立てて学習すべきだったと思います。

■今後に向けて

一次試験の合格は苦い思いでいっぱいであったため、二次試験では自信をもって気持ちよく合格をつかみ取りたいと思います。そのために日々の業務をとおして技術や知識を身に着けるよう精進を重ねたいと思います。

■さいごに

私の勝手な思い込みかもしれませんが、システム開発に関わる企業ではおそらく技術士の資格よりも IPA の情報処理技術者試験を重視している企業が多いと思います。技術士の試験対策の参考書 (情報工学部門) が情報処理技術者試験の参考書よりも圧倒的に少なかったので想像でしかありません。国家資格で信頼性の高い資格にも関わらず技術士 (主に情報工学部門) の知名度が低いのであればとても残念に思います。

私の目標としては二次試験に合格し技術士となり、情報工学分野での技術士の認知度の向上にも貢献できればと思います。